

学校関係者評価報告書

愛媛県立宇和島東高等学校 全日制・定時制

評価実施日

平成 29 年 2 月 14 日 (火)

評 価 ・ 提 言 等

提言等に対する改善策等

1 自己評価の各領域について

(1) 生徒の自己実現

ア アクティブ・ラーニングへの新たな取り組みが徐々に成果を上げており評価できる。教科のねらいの達成が目的であることを念頭に置いて指導方法・学習方法としてのアクティブ・ラーニングを実践研究してほしい。また、アクティブ・ラーニングを推進するため十分な予算を確保し、ICT教育環境の充実を図ってもらいたい。

イ 進学において地元志向の生徒が増えたことに対して二つの異なるご意見をいただいた。①今後、我が国の発展は地方の活性化が重要なカギとなることから地方の発展に生きがいを感じられるような生徒の育成が必要ではないだろうか。②海外研修やコンクールなどに積極的に参加させ、国内だけでなく世界で活躍できる生徒の育成に努めてほしい。

(2) 心身健康で豊かな心

ア 自転車通学生の交通マナー向上に努め、南予地域の模範校となってもらいたい。また、いじめ問題については、統計上表面化していないことを危惧しており、問題の早期発見・早期解決のためにも情報の共有化など引き続き連携の強化をお願いしたい。

イ 昨年度より読書冊数は大幅に増加しており、「朝の読書」の成果の表れであり評価できる。しかし、全体的には読書量が少ないと感じる。「活字」は、人間を向上させ豊かにさせるための大切なツールである。普段の生活の中で読書が習慣化されるよう働きかけてほしい。

(3) 魅力ある特別活動

ア 各種学校行事や部活動において、生徒が主体的に取り組み、充実した活動内容であったと感じられる。また、これらの活動を通して、教育方針である「人格の完成」に対する先生方の強い信念を感じる。来年度以降も引き続き努力を期待したい。

イ 部活動の成果は、地域活性化に直結するものと捉えている。全体的には、レベルの高い活動が行われている。女子生徒の体育部への参加については、高校説明会などを通じて啓発活動を行っていただきたい。

ウ アンケート結果を元に「学校行事の準備・実施に先生方の負担が大きくなっており、次年度以降の行事計画を立てる上で十分な検討を行う必要がある」との明瞭な分析がなされていることは大変良い。今までは、「より良いサービスを提供する」ことばかりが意識され評価されてきた、その結果提供者に過剰な負担が強いられてきたように思う。働き方の見直しも、今後の重要な課題であろう。

1 自己評価の各領域について

(1) 生徒の自己実現

ア 教科を越えた授業研修が充実しており、今後もその機会を十分に確保すると共に、各自が指導方法の工夫や改善に努めたい。また、アクティブ・ラーニングの拠点校としての取組や教育改革の流れを踏まえつつ、生徒に主体的な学びを身に付けさせたい。ICT機器の活用方法を研究すると共に、機器の充実を図りたい。

イ RSIでは、地域の自然や文化・産業を教材に探求活動を行っており、その成果を地域の発展に生かしていこうとする生徒を育てたい。また、プロフェッショナルとの交流会やACEの時間などを通し、早期に明確で高い目標設定ができるよう働きかけたい。また、行ける大学への安易な選択になることなく、生徒の特性や将来の職業を見据えたきめ細かな進路指導の充実を図りたい。

(2) 心身健康で豊かな心

ア 新学期の早い段階で、交通安全に対する啓発活動を実施したい。また、交通安全委員会と教員が協力し、街頭指導の回数を増やしたい。いじめ問題については、アンケートや個別面談の実施と共に、家庭との連携を密にして、生徒の変容を早期に発見できるよう努めたい。

イ 「朝の読書」や図書委員による新着図書の紹介、ビブリオバトルなど来年度も引き続き実施したい。1年生を対象に実施している図書館利用オリエンテーションを更に充実させたり、ポップを用いて本の魅力を生徒に伝えたりしたい。また、小論文対策のために新書コーナーを充実させたい。

(3) 魅力ある特別活動

ア 学校行事計画の見直しも検討しているが、難しい状況である。来年度も短い準備期間を有効に活用し、学校全体が盛り上がる学校行事の運営に取り組みたい。また、行事を通して企画力や運営力、リーダーシップを身に付けさせたい。

イ 指導体制の充実と共に、生徒の主体性を育て、魅力ある部活動の推進を図りたい。特に団体種目での上位入賞を目標に強化を図り、部活動の更なる活性化に努めたい。また、女子生徒の体育部への加入率向上を図るため、あらゆる機会を通じて啓発活動に力を入れたい。

ウ 増加する各種学校行事への対応に追われ、教員に余裕がない状況である。特別活動の目的を再確認し、その実現のために必要な手段(学校行事等)を再検討し、行事の精選を検討したい。また、同時に生徒の主体性(企画力・運営力・リーダーシップなど)を育てたい。

<p>2 定時制について 生徒の学びたいという気持ちを大事に、先生方が一丸となってきめ細かな対応をされていることが良く理解できた。様々な悩みを抱えている生徒が数多くいるが、学習及び学校生活に対して満足度の高い評価が表れている。個に応じた指導が充実している結果であり、大変感謝している。</p> <p>3 説明・公表について ア 学校長の教育理念や学校運に対する考えが、より良く浸透していることがアンケート結果にもはっきりと表れており、素晴らしいことである。また、アンケートは、全方位的に質問項目を作成され、学校・家庭・生徒との位置関係を客観的に把握する貴重な資料となっている。</p> <p>イ 保護者向けアンケートについて、平易な言葉で分かりやすい具体的な質問内容にすべきではないだろうか。また、分析において三者を比較検討し、実態を把握するのであれば質問内容をそれぞれ揃えるべきではないだろうか。更に、質問項目について主権者教育について追加すべきではないだろうか。</p> <p>4 学校運営について ア 学校長を筆頭に教職員の方々の多大な努力により、より良い学校運営ができています。頭が下がるほど熱心な取り組みがなされている。来年度も教職員の皆様が一丸となって学校運営にあたり、生徒たちの力を存分に引き出していただきたい。</p> <p>イ 「忙しすぎる」ことで潤滑油が奪われないか心配である。教職員の心身の健康を保つため、「無駄の削減（事務の合理化）」、「ビルド アンド スクラップ」を着実に実施していただきたい。</p>	<p>2 定時制について 来年度は、開設10周年を迎え様々な記念行事を計画している。これらの学校行事を通して、コミュニケーション能力の向上、学校生活に対する意欲の向上と自信を身に付けさせる指導をしていきたい。また、進路選択においては、より高い目標を掲げ、努力する姿勢を持たせたい。</p> <p>3 説明・公表について ア 来年度もホームページ等を活用し、生徒の活躍はもちろんのこと、本校の教育理念や学校運営に対する考え方を、生徒・保護者をはじめ地域の小中学生や市民に向けて発信したい。今後も、開かれた学校づくりのために、より充実した広報活動を進めていきたい。</p> <p>イ 毎年、各課において質問項目の検討を行っているが、来年度においては、今回ご指摘を受けたことについて改めて各課で前向きに検討し、より良いものにしたい。</p> <p>4 学校運営について ア 学校長のリーダーシップの元、地域の期待に応えながら、生徒の夢を実現させることができるよう、全教職員が共通理解のもと一致団結して取り組みたい。</p> <p>イ 学校全体の仕事量を見直し、各課への再配分を検討したい。生徒の自主性を育てるためには手放す勇気も必要ではないかと考える。また、個人の負担を軽減するため仕事をチームで取り組む体制を構築する必要があると感じている。</p>
---	---